

2019 年度事業報告

1. 総務関係

(1) 2019 年度総会の開催

- ・2019 年度総会を下記の通り開催し、すべての議案が可決されました。

日 時：2019 年 6 月 11 日（火） 17：15～18：15

会 場：自治労京都府本部会議室

代議員：総会員数 31 人（本人出席 12 人、委任状出席 19 人）

議 題：第 1 号議案 2018 年度事業報告について

第 2 号議案 2018 年度決算および監査報告について

第 3 号議案 2019 年度事業計画案について

第 4 号議案 2019 年度予算案について

第 5 号議案 役員の改選について

(2) 理事会の開催

- ・2019 年度理事会を下記の通り開催しました。

第 1 回 日 時：2019 年 10 月 7 日（月） 18：30～17：30

議 題：① 2019 年度事業報告（2019 年 4 月～9 月）

② 2019 年度事業計画（2019 年 10 月～2020 年 3 月）

第 2 回 日 時：2019 年 12 月 17 日（火） 18：30～17：30

議 題：① 2019 年度事業報告（2019 年 10 月～12 月）

② 2019 年度事業計画（2020 年 1 月～3 月）

(3) 監査の実施

- ・2019 年度の会計監査を、監事人の船岡亮太（京都総合法律事務所弁護士）と、篠原輝雄（前自治労京都市職中央執行委員長）により、下記の日程で行いました。

日 時 2020 年 4 月 20 日 14：00～15：00

会 場 京都自治総研事務室

(4) 新規加入会員について

- ・自治労京都府本部自治体議員連合に加盟の議員を含め、以下の方がたが新規に会員として加入されました。

泉ケンタ（衆議院議員）

山井和則（衆議院議員）

上村 崇（京田辺市長）

山本篤志（京都府議会議員）

西川友康（宇治市議会議員）

福井平和（木津川市議会議員）

2. 事業関係

<地方自治および地域問題に関する調査・研究事業>

(1) 地方自治に関する調査・研究事業

- ・「地方自治に関する調査・研究事業」として、2019 年度は、岡山県の真庭市、旧阿波村（現、津山市阿波地区）、奈義町を視察しました。
- ・「真庭市」は、古より、豊かな森と共存して暮らしてきた地域で、地域資源の活用（バイオマス循環）によって、林業・農業・工業・商業などすべての産業と住民の暮らしをつなげる輪を形成して循環型地域経済を確立し、持続可能な社会を形成する「バイオマスタウン構想」を掲げています。
- ・「旧阿波村」は、2005 年に津山市と合併しました。それから 10 年以上過ぎ、合併当時 700 人だった人口は、2015 年に 495 人に減少。小学校の閉校や幼稚園の休園、唯一のガソリンスタンドは撤退し、まさに「逆境のデパート」状態となりました。しかし、住民から未来を切り拓く挑戦が始まり、「あば村宣言」によって、住民の手で「新しい自治」のかたちをつくろうとしています。
- ・「奈義町」は、2014 年に合計特殊出生率が 2.81 となり、子育て支援の「成功例」として脚光を浴びました。町では、子どもを産み育てやすい環境をつくるには何が必要かを洗い出し、「若者定住支援」「就労支援」「独自の子育て支援策」の 3 つを柱に据えて、それぞれ段階的に拡充を図っています。
- ・視察には、木村幹雄（京都自治総研理事長）、只友景士（京都自治総研理事・龍谷大学政策学部教授）、田中宏樹（京都自治総研理事・同志社大学政策学部教授）、榎田博之（自治労京都府本部執行委員）、黒岩洋子（京都自治総研事務局長）が参加しました。
- ・視察・調査の内容は、以下の通りです。
- ・日 程：2020 年 2 月 25 日（火）～2 月 26 日（水）
- ・行 程
＜2 月 25 日（火）＞

【真庭市】

①「あぐりガーデン」うさハレストラン

講師：若田拓也（一般社団法人真庭観光局地域マネジメント部）

内容：真庭地域の循環型社会作りをコーディネートする「NPO 法人真庭あぐりガーデンプロジェクト」が運営するレストラン。安心・安全な食材を提供し、地産地消と 6 次産業化を推進しています。

②真庭市におけるバイオマス産業都市構想の概要説明

講師：杉本隆弘（真庭市産業観光部林業・バイオマス産業課）

内容：再利用可能な有機性資源である「バイオマス」を基軸に、集積基地や発電所、さらに液肥の生産など、まちのさまざまな産業が連携し、人びととの暮らしを結ぶ構想の説明を受けました。

③真庭バイオマス集積基地第二工場の見学と概要説明

講師：高下貴史（真庭木材事業協同組合木材事業部長）

内容：未利用木材や製材所で発生する樹皮を利活用するため、2008年に全国で初めて建設されました。活用方法に応じて、かんな屑・おが屑を粉碎したり、樹皮の粉碎、木材チップを生産する工場を、説明を聞きながら見学しました。

④真庭バイオマス発電株式会社の見学と概要説明

講師：発電所職員

内容：2015年4月に稼働した、国内最大級規模の木質バイオマス発電施設。年間330日、24時間連続運転し、年間7920万kWhの電力を供給できる施設で、説明を聞きながら見学しました。

⑤真庭市役所本庁舎の見学と概要説明

講師：若田拓也（一般社団法人真庭観光局地域マネジメント部）

内容：2011年4月に開庁した真庭市役所本庁舎は、真庭産の木材をふんだんに使用した建物で、木質ペレット・チップ冷暖房、太陽光発電など、100%自然再生エネルギーを活用する庁舎を、説明を聞きながら見学しました。

⑥真庭市長表敬訪問

内容：太田昇真庭市長は、2013年に京都府副知事を退任されるまでの39年間、京都府庁に勤務されていました。京都自治総研の木村理事長が連合京都会長時代に親しくされていたので、表敬訪問しました。市長の「バイオマス産業都市構想」にかける熱い思いに、参加者一同、圧倒されました。

< 2月26日（水） >

【津山市阿波地区】

①「小さな拠点づくり（あば村宣言）」の概要説明および施設見学

講師：皆木憲吾

内容：「あば村」の歴史や、小さな拠点づくり、あば村ブランドによる小さな仕事づくり、都市農村交流を通じた移住・定住を、「3本の矢」にして活性化をはかっている様子について説明を受けました。

概要説明を受けたあと、村内の、住民出資で再建した「ガソリンスタンド」や「あば商店」、小学校跡の農産加工施設、都市農村交流施設「あば宿」、古民家レストラン、移住者が住む古民家などを、説明を聞きながら見学しました。

【奈義町】

①子育て支援施設「なぎチャイルドホーム」

講師：貝原博子（子育てサポート「スマイル」・自主保育たけのこ事務局）

内容：施設内の、誰でも・いつでも・これる場所である「ちゅくしんぼ」、子育てをサポートしたり一時預かりをする「スマイル」、2歳半から就学前の子どもを親が自主保育する「たけの子」などを、説明を聞きながら見学しました。

②奈義町「子育て支援」の概要説明

講師：鷺田拓平（奈義町情報企画課）

内容：高い合計特殊出生率を生み出す背景にある、「若者定住施策」「就労対策」「独自の子育て支援策」について説明を受けました。鍵は、子育て世代の「安心感」だ

ということでした。

(2) 「府民クラブ京都府議会議員団研修会」に協力

- ・府民クラブ京都府議会議員団が、財政問題の研修会をすることになり、講師派遣の依頼がありました。
- ・講師は、府議団の希望で、只友景士教授にお願いしました。
- ・日程等は以下の通りです。

日 時：2020年3月25日（水） 10：30～12：00

会 場：京都府庁議会棟

テーマ：2020年度地方財政の動向

(3) 財政分析ソフトの更新

- ・京都府内各自治体の財政的現状と課題を明らかにするために、2014年8月、財政研究会を立ち上げました。そのなかで、増田友也京都自治総研研究員が、生活圏を比較的同じくする近隣自治体の財政状況を比較するため、分析ソフトを開発しました。以後、毎年3月に公表される「市町村別決算状況調」の新しい財政データを用いて、財政分析ソフトを更新しています。
- ・2019年度は、5月23日に、各自治体単組および希望する会員に配付しました。

(4) 自治労京都府本部「2020 春季生活闘争・職場要求アンケート」に協力

- ・自治労京都府本部が単組を抽出して、「2020 春季生活闘争・職場要求アンケート」を実施し、13単組、662人から回答がありました。
- ・京都自治総研では、集まったアンケートを集計し、報告書の作成に協力しました。

<地方自治および地域問題に関する学習・交流事業>

(1) 総会記念講演会

- ・2019年度総会の終了後、総会記念講演会を下記の通り開催しました。
- ・講演内容については、会報136号（2019年10月15日発行）に収録しました。

日 時：2019年6月11日（火）18：45～20：00

会 場：京都府立総合社会福祉会館「ハートピア京都」

テーマ：人口縮小社会の自治体と自治体職員

講 師：土山希美恵（龍谷大学政策学部教授）

参加者：55人

(2) 「第34回自治総研セミナー」に参加

- ・(財)地方自治総合研究所が主宰する「第34回自治総研セミナー」が、下記の通り開催されました。
- ・京都自治総研からは、木村幹雄理事長が参加しました。

日 時：2019年9月21日（土） 10：00～16：30

会 場：法政大学ボアソナード・タワー

テーマ：自治体の可能性と限界 — 原発災害から考える

① 原発災害と自治体

講師 阿部昌樹（大阪市立大学）

金井利之（東京大学）

司会 上林陽治（地方自治総合研究所）

② 自治体のできたこと・できなかったこと

講師 石田 仁（福島県大熊町長）

西城戸誠（法政大学）

平岡路子（弁護士・福島県弁護士会所属）

山下祐介（首都大学東京）

司会 今井 照（地方自治総合研究所）

(3) 「地方財政セミナー」の開催

- ・次年度の地方財政の動向について学習する「地方財政セミナー」を、今年度も自治労京都府本部と共催で、下記の通り開催しました。
- ・セミナーには、議員なども多く参加され、活発な意見が交わされました。
- ・内容は、会報 138 号（2020 年 6 月頃発行）に掲載する予定です。

日 時：2020 年 2 月 12 日（水）18：30～20：00

会 場：キャンパスプラザ京都

テーマ：2020 年度地方財政の動向

講 師：只友景士（京都自治総研理事、龍谷大学教授）

参加者数：58 人

(4) 京都府内自治体首長との対談

- ・2019 年度は、以下の 2 自治体の首長と対談形式で情報交換を行い、交流を深めました。

<宇治田原町長との対談>

日 時：2019 年 8 月 8 日（木） 9：00～10：30

会 場：宇治田原町役場

出席者：西谷信夫（宇治田原町長）

高橋直樹（京都自治総研副理事長・自治労京都府本部執行委員長）

岡本哲也（京都自治総研専務理事・自治労京都府本部書記長）

- ・対談では、煎茶発祥の地として、永谷宗円ゆかりの湯屋谷地区に「宗円交遊庵やんたん」をつくり、町内外の交流によるまちの活性化をはかる施策や、近年、増加している災害への対応として、新たなバイパス道路の整備、災害拠点となる新庁舎の建設に着手していることなどをうかがいました。
- ・内容は、会報 136 号（2019 年 10 月 15 日発行）に掲載しました。

<城陽市長との対談>

日 時：2020 年 1 月 20 日（月） 11：00～12：00

会 場：城陽市役所

出席者：奥田敏晴（城陽市長）

高橋直樹（京都自治総研副理事長・自治労京都府本部執行委員長）

岡本哲也（京都自治総研専務理事・自治労京都府本部書記長）

- ・対談では、城陽市内に開通した新名神のインターチェンジが 3 つも建設されたことを活かして、“NEW 城陽”をかかげ、「人とモノが行き交うハブ都市」をめざす意気込み

をうかがいました。

- ・内容は、会報 137 号（2020 年 3 月 20 日発行）に掲載しました。

(5) 「2020 京都自治研集会」の開催

- ・2020 年度は、「京都自治研集会」が開催される予定です。
- ・それに向けて、2019 年 11 月 20 日（水）と、2020 年 1 月 7 日（火）に実行委員会が開催され、以下の内容が決まりました。

開催日時：2020 年 7 月 31 日（金）

全体集会 15：00～16：45（予定）

分科会 17：00～19：30（予定）

会 場：京都テルサ

- ・京都自治総研では、実行委員会に参加するとともに、各単組の自治研力を推進するため、企画・運営や発表レポートの確保に取り組んでいきます。

<地方自治および地域問題に関する情報提供事業>

(1) 会報「京都フォーラム」の発行

- ・2019 年度の会報「京都フォーラム」は、以下の 3 号を発行しました。

【第 135 号】（2019 年 6 月 10 日発行）

< 2019 年度地方財政セミナー >

「2019 年度 地方財政の動向」

只友景士（龍谷大学政策学部教授・京都自治総研理事）

「地方交付税制度の問題点とあり方の検証」

飛田博史（地方自治総合研究所研究員）

< 「徳島県神山町」視察報告 >

「新しいビジネスコミュニティの現場を見学 － サテライトオフィスツアー」

木村幹雄（京都自治総研理事長）

「“創造的過疎”で持続可能な地域に」

木村幹雄（京都自治総研理事長）

「神山町の地域創生 － まちを将来世代につなぐプロジェクトに触れて」

川戸英美（自治労京都府本部執行委員）

「神山アーティスト・イン・レジデンス － 国際的な滞在制作アート・プロジェクト」

西川 翔（自治労京都府本部執行委員）

[コラム]

「道の駅“温泉の里神山”」

「WEEK 神山」

「多くの観光客が訪れる“栗カフェ”」

「神山温泉“四季の里&いやしの湯”」

「四国八十八カ所第 12 番札所“焼山寺”」

【第 136 号】（2019 年 10 月 15 日発行）

< こんにちは「宇治田原町長」 >

「町政の最重要3本柱は、みち・拠点・未来づくり」

西谷信夫（京都府宇治田原町長）

高橋直樹（京都自治総研副理事長・自治労京都府本部執行委員長）

司会／岡本哲也（京都自治総研専務理事・自治労京都府本部書記長）

<京都自治総研総会記念講演>

「人口縮小社会の自治体と自治体職員」

土山希美枝（龍谷大学政策学部教授）

<議員活動を振り返って、これからの議員に求められること>

「京田辺市議会議員12年を終えて ― 目線を未来に一歩ずつ」

米澤修司（前京田辺市議会議員）

「議員として、信念に基づいた市政への思いを実現」

隠塚 功（前京都市議会議員）

「対立ではなく、信頼と理解の必要性を知った12年間」

山本拓史（前京都市議会議員）

<社会貢献活動に取り組む「前京都市埋蔵文化財研究所労組委員長」>

「伝統芸能と地域とのつながりを求めて ― 嵯峨狂言堂の保存修理終焉にあたり」

加納敬二（京都市埋蔵文化財研究所職員労組・嵯峨大念仏狂言保存会事務局長）

【第137号】（2020年3月20日発行）

<こんにちは「城陽市長」>

「人とモノが行きかう“NEW城陽”へ飛躍」

奥田敏晴（京都府城陽市長）

高橋直樹（京都自治総研副理事長・自治労京都府本部執行委員長）

司会／岡本哲也（京都自治総研専務理事・自治労京都府本部書記長）

<議員活動になって思うこと、これからの議員活動に向けて>

「定年後、木津川市議会議員に初挑戦、初当選

― 現地現場主義で市の未来にチャレンジ！」

福井平和（木津川市議会議員）

「いつまでも“初心”を忘れず」

山本篤志（京都府議会議員）

「亀岡市“プラスチック製レジ袋の提供禁止条例”背景と取り組み」

黒岩洋子（京都自治総研事務局長）

<社会貢献活動に取り組む「元京都府議・中島則明さん」>

「衰退の一途にある地域力 ― 今の私にできる事！」

中島則明（元京都府議会議員）

(2) Facebook の充実

- ・木村幹雄理事長を中心に、Facebook の充実を図りました。